

白市町家保存会の活動

NO.1

2023年11月

白市町家保存会の活動 part1

町家めぐり&講演会

江戸、明治、大正 白市の町家を訪ねる

- 日時 2023年10月29日(日)13時30分～
(受付13時～)
- 場所 白市交流会館集合 東広島市高屋町白市
- 探訪 重要文化財 旧木原家住宅
特別公開 登録有形文化財 保手濱家、大藤家
伊原八郎家住宅
- 講演 古い建物を残すと何がおきるか？
～地域の活性化計画における
近代和風建築保存の意義と住民参加
講師 渡邊義孝先生 16時～17時
一級建築士、尾道市立大学非常勤講師、
NPO法人尾道空き家再生プロジェクト理事
- 参加費 1500円 (白市紅茶付き)
- 定員 15人 申し込みはこちら→
- 主催 白市町家保存会
問合せ shiraichimachiya@gmail.com



10月29日、町家めぐり&講演会には、東広島市内外から建築、観光、郷土史研究など幅広い方々からの問い合わせが相次ぎ、当日は約50人が参加。2グループに分かれ、重要文化財の旧木原家をはじめ、普段は公開していない町家を見学し、渡邊義孝先生の講演を聞きました。

東広島市内外から
建築、観光、郷土史
研究など幅広い方々
約50人が参加

江戸時代 重要文化財 旧木原家住宅



大正時代 登録有形文化財 伊原八郎家住宅



粋な意匠
の宝庫



寛文5年(1665)
日本で6番目に古い町家建築



明治時代 登録有形文化財
保手濱家住宅 (雑貨・駄菓子屋)

2階部分が低く、庇が大きい



昭和初期 登録有形文化財
大藤家住宅 (旧酒造業)

2階部分が高く、
 ガラス窓を多用



玄関脇の路地も趣深い

講演 古い建物を残すと何がおきるか？

～地域の活性化計画における近代和風建築保存の意義と住民参加
 講師 渡邊義孝氏 一級建築士、尾道市立大学非常勤講師



会場には白市の歴史的写真を展示



地元作家の作品展示・販売や、有機栽培の白市紅茶なども紹介

感想より

■近くに住んでいるのにこんなに素晴らしい家々や文化が残っていると、当日は目から鱗のように、驚きと感動で拝見、拝聴しました。

■自分にとって、ここは学ぶ場所であり、帰る場所だと感じました。

渡邊先生が言われていた、「価値を知らないで消えてしまう遺産をなくしたい」という言葉は、新しいものを追いつけてきて、ふと気づくと何者かわからなくなっている私たちが立ち返る場所を大切にすべきといわれているように感じました。

■白市を初めて訪問しましたが、渡邊先生が指摘されていたように地域として町家が残っているのは非常に面白く、参考になりました。案内いただいた各家が個性的で解説とあわせて理解が深まりました。

■尾根に向かって上がるような坂道の町並みは全国的にもあまり見られなくて、西福寺から見る「赤い葺の坂道の町並み」はたいへん貴重な景観だと思いました。

渡邊先生の尾道を実例とした「建物を使い続ける残し方(私の解釈)」のお話もたいへん興味深く聞かせて頂きました。歴史的な町づくりは「建物を残して、それからどうする？」が最大のテーマだと思います。